

きみつ 市議会 だより

Kimitsu City Assenbly News

No.110

9月定例会

2012.11.1
発行

主な内容

9月定例会のあらまし	2
個人質問Q&A	4
委員会の焦点	7
決算審査特別委員会	9
きみつズームアップ	12

発行／君津市議会
編集／きみつ市議会だより編集委員会



朝から 夜まで

紅葉を満喫できます！

ピック アップ
Pick Up!

亀山湖周辺は日本で一番遅い紅葉が楽しめる人気スポットです。ハイキングやレンタサイクルのほか、モーターボートに乗って巡る、湖上ならではの「紅葉狩りクルーズ」も評判です。

さらに、9月定例会で補正予算が可決されたことから、今年は、ライトアップイベントも実施されることになりました。昼間とは違った幻想的で、美しい光景をぜひ、ご自分の目で堪能してください。詳しくは、観光課 ☎ (56) 1325



君津市
マスコットキャラクター
きみびん

9月

定例会の
あらまし

名誉市民の推挙についてなど

議案9件、認定案件9件を可決

9月定例会は、9月3日から9月26日までの24日間の会期で開かれました。

今定例会では、市長から、名誉市民の推挙についてをはじめとする議案9件と平成23年度一般会計、各特別会計の歳入歳出決算、水道事業決算の認定案件9件が審議され、いずれも原案のとおり、可決・認定されました。

また、陳情1件が審議され、慎重審議の結果、不採択となりました。

なお、一般質問では8人の議員が登壇し、市政運営全般にわたって、活発な議論が展開されました。

※ 本 会 議 討 論 ※

反対

●議案第1号

本市に対する貢献度等を総合的に勘案し、不同意。

●認定第1号

市税1%支援事業、学校給食特別会計繰出金等に、同意できない。

●認定第2号

学校給食調理場建設事業費について、同意できない。

●認定第4号

画一的な資格証明書の発行について、同意できない。

●認定第8号

後期高齢者医療制度そのものに同意できない。

●陳情第4号

「県指針」を「県条例」にする、待機児童の増加が予想される。

賛成

●議案第1号

本市の資源と特性を活かした個性あるまちづくりに尽力し、地域住民の福祉向上に多大なる貢献をされた。力添えを賜り、議会としても市民福祉向上に邁進したい。

●議案第5号

電気自動車の販売や急速充電

設備の設置が進んでいる。今後を考え、制定を理解する。

●議案第8号

震災に伴う防災対策や本市の活性化につながる観光事業等を実施するものであり、国・県の補助金も活用されている。

●認定第1号

基金からの繰り入れや臨時財政対策債等による歳入確保、行財政改革や継続事業の見直し、公共施設における統廃合、人件費削減にも努めている。市税1%支援事業は、地域の活性化や特色あるまちづくりを推進している。

●認定第2号

現在の施設は、老朽化や耐震性等の課題を抱えており、新衛生管理基準を満たした施設の整備によって、安心で・安全な給食を子どもたちへ提供できる。

●認定第4号

短期保険証及び資格証明書の発行は、負担の公平性の観点からやむを得ない。

●認定第8号

低所得世帯への負担軽減にも配慮しており、国民皆保険制度の維持にも必要である。

●陳情第4号

陳情者の思い、保育関係者等の願いを考え、採択すべき。

議会日誌

8月20日

議会全員協議会
君津活性化対策特別委員会

9月27日

議会運営委員会
【本会議】

9月3日

○開会・会期の決定
○議案の上程（提案理由説明・補足説明）

○議案の一部採決
○陳情の上程

○一般質問（個人2人）
議会全員協議会

【本会議】

○一般質問（個人4人）
議会だより編集委員会

【本会議】

○一般質問（個人2人）
議会だより編集委員会

【本会議】

○特別委員会の設置
決算審査特別委員会

○議案及び陳情の委員会付託

文教民生常任委員会
総務常任委員会

建設経済常任委員会
決算審査特別委員会

決算審査特別委員会
議会改革特別委員会

【本会議】

○委員長報告（質疑・討論・採決）
閉会

議会だより編集委員会

番 号	件 名	本会議の審議結果
◆市長提出議案		
議案第 1号	名誉市民の推挙について	同 意 (賛成多数)
議案第 2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同 意 (全会一致)
議案第 3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同 意 (全会一致)
議案第 4号	君津市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第 5号	君津市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第 6号	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決 (全会一致)
議案第 7号	平成 23 年度君津市水道事業利益の処分について	原案可決 (全会一致)
議案第 8号	平成 24 年度君津市一般会計補正予算 (第 2号)	原案可決 (全会一致)
議案第 9号	平成 24 年度君津市介護保険特別会計補正予算 (第 1号)	原案可決 (全会一致)
認定第 1号	平成 23 年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛成多数)
認定第 2号	平成 23 年度君津市学校給食特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛成多数)
認定第 3号	平成 23 年度君津市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛成多数)
認定第 4号	平成 23 年度君津市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛成多数)
認定第 5号	平成 23 年度君津市聖地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛成多数)
認定第 6号	平成 23 年度君津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (全会一致)
認定第 7号	平成 23 年度君津市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (全会一致)
認定第 8号	平成 23 年度君津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (賛成多数)
認定第 9号	平成 23 年度君津市水道事業決算の認定について	認 定 (全会一致)
◆陳情		
陳情第 4号	「保育所の設置認可等の基準に関する指針」の内容を「県条例」にすることを求める意見書の提出を求める陳情書	不 採 択 (賛成少数)

**人事案件に
同 意**

人権擁護委員

岡村正美 (66)
糸川 4 6 3 番地

平野 洋 (70)
俵田 1 4 6 1 番地 2

**モニター傍聴
できます**

市役所 1 階ロビーに設置した専用モニターで、市議会本会議の様子を生放送しています。
※放送は本会議中のみです。



名誉市民に若月弘氏

本市の発展に著しく貢
員、千葉県土地開発公社
献した功績により、元君
理事長、東京ガス株式会
津市長 若月弘氏 (84) を
社顧問を経て、平成 6 年
名誉市民に推挙する議案
11月1日に君津市長に就
の提出があり、9月3日
任されました。
に市議会が同意し、10月
以来、平成10年10月31
29日に君津市名誉市民に
日までの1期4年にわた
推挙されました。
り、君津市政の推進に尽力
若月弘氏は、千葉県職
されました。

ここが聞きたい！

一般質問 Q&A

一般質問の制限時間は60分。市政全般にわたり、市長その他の執行機関に対し、事務の執行状況や将来への方針など、自由に質問することが許されています。

9月定例会では、8人の議員が大綱31項目について、一般質問しました。各議員による質問の大綱と主な質問・回答の概要を通告順に掲載します。

※質問した議員自らが、項目と問答内容を選定しています。



天笠 寛 議員

(新政君津)



・財政フレームと今後の動向について
・津波対策と現状の海拔表示について

一般会計予算の状況

Q 本市の財政は厳しい状況を迎えると思うが、今後の動向について伺いたい。

A 市長 平成23年度から交付となった普通交付税が不交付となることも考えられ、税収の大幅な上積みも期待できない以上、厳しい財政運営が続くものと想定される。

Q 平成23年度の経常収支比率は97・2%である。70から80%以内におさまっていないければ、弾力性のある運営はできないと思うが、現状に関する危機感をどの程度持っているか。

A 財政部長 今の市税収入では、経常的経費さえ賄えない状況である。基金や市債等の活用がなくては、現状の財政運営も厳しい状況にあるという認識を持っている。

津波対策の進捗

Q 現状の海拔状況を踏まえた危機管理の考え方と対策、また、津波対策の進捗よく状況は。

A 総務部長 海拔が低く、津波の危険度が高い神門地区については、地区の地形を念頭に置き、自主防災組織等と連携しながら継続的に津波避難訓練を行う。また、旧神門保育園跡地の整備計画の中で、津波対策も含めた防災機能を持つ施設の設置についても検討している。

Q 防災機能を持つ施設の設置とは、津波タワーも視野に入れていない認識でよいか。

A 総務部長 現在、100人ほどが一時的、緊急避難的に屋根の上に避難できるような防災備蓄倉庫等の整備を考えている。

須永 和良議員

(諸派・新風)



・健康都市宣言について
・少子化問題について
・教育行政について
・文化のまちづくりについて
・財政運営について

不妊治療費の助成

Q 先進地の調査結果と市の見解は。

A 保健福祉部長 市町村独自の助成は、近隣では袖ヶ浦市が実施している。本市としては、県の助成事業の周知に努め、引き続き調査検討する。

Q 本市で導入するにあたり、一番の課題は。保健福祉部長 厳しい財政状況の中で、子育て世代への補助は、生産年齢世代への補助である。定住を条件に補助を出せば、納税でかえってくると思うがどうか。

A 財政部長 支出的に助となるため、今後、慎重に検討していく。

市民館・放課後の体

Q 市民館・放課後の体育館など、施設を利用する際の有料化について、市の見解は。

A 教育長 学校体育施設を無料、公民館については生涯学習活動については無料で利用していただいている。社会教育・社会体育の振興は重要施策の一つ。今後は社会情勢や近隣市の状況も踏まえ、調査研究する。

Q 使用料を徴収すれば修繕もでき、社会体育等の振興になると思うが。教育部長 学校開放運営委員会の中で、今後、検討する。

Q 職員駐車場の有料化について、市の方針は。総務部長 検討委員会を設置する。いつ検討結果を出すのか。総務部長 すぐというわけにはいかないが、有料化はしていく。

橋本 礼子議員 (創政会)



・教育行政について
・福祉行政について

小中一貫教育と学校の統合対策

Q 小中一貫教育に関して、今まで議論され、教育効果も認識されてきているが、小中一貫教育に向けた取り組み状況、また、空き教室の活用について伺う。

A 教育長 具体的な取り組みとして、小中連携会議を開き、共通の目標を設定し、実践している。教室を地域の方々と福祉活動のために解放することについては、教育目的以外の余裕教室の活用方法の一つとして、調査研究していく。

Q 小中一貫教育の推進体制はどう考えているか。また、学校統合について、少子化対策という観点で全庁的に取り組む考えはあるか。

A 教育部長 推進委員会組織を設置し、推進計画を作る。学校統

下田 剣吾議員 (諸派・きみつ改革)



・防災対策について
・教育について
・交通弱者について
・総合計画について
・職員採用について
・情報政策について
・財政について

学校予算とPTA

Q PTAの学校修繕の状況は。

A 教育部長 平成23年度において、8校で実施され、20万4404円であった。

Q 障がい者虐待の予防と早期発見、さらに養護者への支援を目的とした障害者虐待防止法の施行に伴う市の対応は。

A 保健福祉部長 虐待にかかる通報や届け出、支援等の相談窓口として、障害者虐待防止センターを設置し、職員の対応が難しい時間帯は、民間事業所へ委託する。

小系中の耐震化

Q 小系中学校の特別教室の具体的な改善はどうするのか。

A 教育長 特別教室棟は築後48年だが、機能を移す教室がない。早急に耐力度調査を行い、改築に向け努力する。

Q 広い面積だが、福祉避難所は1つしかない。災害時に十分な対応が取れるのか。福祉避難所がもっと必要だと思うが。

A 保健福祉部長 現在は、ふれあい館のみであるが、今後、拡大を検討する。

Q 耐震診断さえしてない学校がある自治体として、本市の名が発表された。診断率は県内54番。子どもを守れないのは行政としてどうか。

A 教育部長 改修できる施設は改修し、建替えしなければいけない施設は考えていく。

保坂 好一議員 (創政会)



・安心、安全なまちづくりについて
・健康きみつ21(第2期)について
・第一次きみつ教育創・奏5か年プランについて

自治会加入状況

Q 地域の中核を担う自治会組織の加入状況と対応は。

A 市長 ここ数年、加入率は減少傾向にある。自治会は、住民同士のコミュニケーションの場であるとともに、安全で安心なまちづくりにおいても欠くことができない身近な組織である。

Q 未加入世帯の解消を図るため、引き続き広報を行うとともに、集合住宅等については、家主や管理人の協力をいただきながら加入促進を図る。

A 教育長 青少年健全育成団体の支援として、パトロールや見守り、挨拶運動等、地域の特色に応じてさまざまな活動が展開されている。「子ども110番」では、現在まで、大きな事件や事故で子どもが駆け込んだとの報告はなく、一定の抑止力があると考えている。

年度からの「健康きみつ21」において、これまでの実績を踏まえ、今後の目標を設定し、取り組んでいく。

協働による教育の推進

Q 学校評議員推進事業の成果は。

A 教育長 学校評議員の方々には、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、特色ある教育活動を展開できるよう、意見や助言をいただいている。

Q 地域コミュニティ事業の成果は。

A 教育長 青少年健全育成団体の支援として、パトロールや見守り、挨拶運動等、地域の特色に応じてさまざまな活動が展開されている。「子ども110番」では、現在まで、大きな事件や事故で子どもが駆け込んだとの報告はなく、一定の抑止力があると考えている。

Q 公共の場における受動喫煙防止対策は。

A 保健福祉部長 市役所1階ロビー喫煙コーナーを撤去するなど、受動喫煙の予防を進めているところだが、平成25

三浦 道雄議員

(諸派・日本共産党)



- ・原発ゼロについて
- ・福祉・医療行政について
- ・まちづくり構想について
- ・教育行政について

原発ゼロを求める市民感情

Q 原発ゼロを求める市民の思いや感情をどのように捉えているか。

A 市長 今すぐ原子力を上回る代替エネルギーが見出せない現状にあつては、厳格な安全対策を講じた上で原子力発電の活用も必要ではないかと思う。

副次核整備事業

Q JR久留里駅東西を結ぶ連絡通路の進捗状況は。

A 経済部長 久留里駅の構内を利用することから、JR東日本千葉支社との協議を進めている。7月末に同社を訪問し、本市の考え方等について、説明したところだが、JR東日本千葉支社の意見もあることから、引き続き、協議を重ねていく。

デマンドタクシー

Q 実証実験に伴う申し込み状況は。

A 企画政策部長 新たに亀山地区を加え、小櫃・上総地域を一体とした運行区域とし、9月1日から運行を開始した。登録者数は、累計で1300世帯、2653人であり、今後も多くの方に利用いただくため、利用促進に努める。

給食センターの存続

Q 平山共同調理場の廃止・統合に同意できないとの意見にどう対応するのか。

A 教育部長 同調理場は供用後37年が経過し、老朽化が進んでいる。新たな調理場の概要がまとまり次第、説明の機会を設け、再度、調理場の統合について十分説明し、理解を得るよう努める。

池田 文男議員

(政和会)



- ・観光振興について
- ・市民斎場について
- ・道路整備事業について
- ・環境行政について

経済波及効果が期待される観光拠点

Q 県では、観光を目的としたカジノを含む統合型リゾート施設の導入を可能とする「IR推進法」について、成田空港周辺で調査を行ってきた。本市においては、研究、検討する考えはあるか。

A 市長 県の動向を踏まえながら、情報収集に努めていく。県では、今後、幕張や木更津市周辺の基礎調査をするようだが。

A 企画政策部長 非常に大きなプロジェクトであり、地域振興にも大きな影響をもたらすので、研究していく。

Q 市民斎場を運営することに對する本市の考え方は。

A 市民環境部長 福祉、地域性、経済面

などを考慮し、調査、研究していく。

道路整備

Q 小櫃佐貫停車場線の中間地点において、立木が大きく成長し、トンネル状態となっている。冬期は道路が凍結状態になるため、早急に整備すべきと考えるが。

A 建設部長 道路管理者である県に対し、道路改良を要望している。沿道の立木は、伐採を含め、早急に県と協議を進めていく。

がれき処理

Q 東北地方のがれき処理について、かずさクリーンシステムへの受け入れを、どのように考えているか。

A 市民環境部長 県が受け入れの協力を見合わせるのとことであり、受け入れは考えていない。

榎本 貞夫議員

(公明党)



- ・防災対策について
- ・公共施設の安全対策について
- ・安心なまちづくりについて
- ・電子自治体・君津の実現について

公民館の耐震化

Q 老朽化が進む四つの公民館の具体的な整備方針は。

A 教育長 周南、小糸、清和、小櫃の公民館は、公民館耐震化推進計画に基づき、次期まちづくり実施計画等の主要事業に位置づけ、順次、一公民館ずつ計画的に耐震化の実施に努める。

買い物難民対策

Q 高齢者や買い物難民の対策として、周南地区へスーパーマーケットを誘致できないか。

A 経済部長 経済状況等から、新たな出店は期待できないと思う。

Q 移動販売車の導入などを提案できないか。

A 経済部長 電話注文による宅配サービスや移動販売車による巡回販売を含め、商工会

議所等と連携し、検討する。

基幹業務システムのオープン化

Q オープン化により期待できるメリットは。

A 総務部長 新システムはクラウド方式で災害に強く、トータルコストで2割以上の削減を見込んでおり、事務効率や窓口サービスの向上が期待できる。

Q セキュリティー対策や個人情報保護、災害時の安全性は万全か。

A 総務部長 データセンターと専用ネットワークで接続し、盗み見・改ざんを防止する。センサー内は、指紋認証や監視カメラ等、人的なセキュリティを確保する。また、データセンターにサーバーを設置すること、バックアップを遠隔地に保管することに、二重の対策を講じるため、災害時も安全が確保できる。



委員会の焦点



各常任委員会では、付託された議案及び陳情をそれぞれ審査しました。主な議案の審査概要は、以下のとおりです。※議案名などは、議案等の審議結果（3ページ）を参照ください。

■ 総務常任委員会



◆ 議案第5号

〔内容〕 電気自動車の急速な普及に伴い、設置が進む急速充電設備を規制するため、一定出力の同設備を対象に追加する等の条例規定を整備する。

〔問〕 雨水等の侵入防止措置に関する規定状況は。

〔答〕 急速充電設備本体の防水処置を講じることになっており、それ以外の規定はない。（全会一致で可決すべきものと決定）

◆ 議案第8号

〔内容〕 歳出では、東日本大震災等による被災者のうち、市内の応急仮設住宅となる民間賃貸住宅への入居希望者が増加しているため、391万3千円を増額補正する。また、前年度以前に納付され

た市税について、課税額の減額等により、超過分となる額を返還するため、1400万円を増額補正する。また、市消防団第15分団の全国消防操法大会出場に係る費用として、550万円を計上する。また、消防防災施設等整備費国庫補助金の不採択や起債の事業区分の変更等により、財源更生を行う。

また、防災アドバイザーの設置、地震等による被害想定調査、防災行政無線に係る電波状況確認調査等を行う経費として、1450万円を増額補正する。

歳入では、消防防災施設等整備費補助金の不採択により1181万1千円を減額する。また、東日本大震災災害救助負担金391万3千円を計上する。また、総務費県補助金1700万円のうち、1300万円は「がんばろう！千葉」市町村復興基金事業、防災対策推進事業に充てる。また、消防債1570万円は、防火水槽設置や消防車両購入に係る借入れをするもの。なお、歳出補正額の一般財源分1711万1千円は、前年度繰越金により措置する。

〔問〕 防災アドバイザーの人数、報酬、業務内容は。

〔答〕 1名を予定しており、報酬は半年分で24万円。防災計画や防災訓練への助言・提言及び講演会

の実施等を行っていただく。〔問〕 採用の判断基準、専門的資格の有無は。

〔答〕 防災士等の資格はないが、女性・母の視点から文部科学省や東京都等で防災関係の委員を務めており、市民に直結するアドバイスをいただく。

非常に重要な役割を担うこととなるので、本市防災業務に幅広く携わってもらいたい。（全会一致で可決すべきものと決定）

■ 文教民生常任委員会



◆ 議案第4号

〔内容〕 公益法人改革関連法により、委員の所属する法人名称が、

「社団法人」から「一般社団法人」に変更となったため、条例の一部を改正するもの。（全会一致で可決すべきものと決定）

◆ 議案第6号

〔内容〕 外国人登録法の廃止に伴い、規約中の文言削除及び負担金算定に係る経過措置の規定等について、条文の整備を行う。（全会一致で可決すべきものと決定）

◆ 議案第8号

〔内容〕 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の施行に伴い、障害者虐待防止センター設置等を整備するため、73万5千円を増額補正し、財源は障害者自立支援事業費等国庫補助金71万6千円及び一般財源1万9千円を充てる。また、放課後児童クラブ及び認可外保育施設の利用者の増加により、放課後児童健全育成事業で279万5千円、認可外保育施設利用者補助事業で265万7千円を増額補正し、財源は放課後児童健全育成事業県補助金186万4千円及び一般財源358万8千円を充てる。また、保健福祉センターに設置された笠木の修繕事業に900万円、国民健康保険保険基金安定国庫負担金の超過交付返還金として、338万4千円を増額補正し、財源は全額一般財源を充てる。（8ページ上へ続く）

(7ページ下から続く)

また、市民文化ホールのロビーチェアアの交換経費として、115万5千円を増額補正し、財源は指定寄附金100万円及び一般財源15万5千円を充てる。

問 認可外保育施設の担う役割は。

答 公立保育園へ入園できない方が認可外保育施設を利用することで、待機児童の解消にもつながる。施設利用者には補助金を交付し、経済的支援を図っている。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第9号

(内容) 平成23年度介護保険事業における超過交付返還金が生じたため、1974万7千円を増額補正し、財源は全額介護給付費繰越金を充てる。

問 返還金が生じた経緯は。

答 3年前に計画した介護保険事業計画に基づく交付金の算定や法改正等による業務委託の廃止、職員の雇用形態の変化により、予算執行が少なくなった。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆陳情第4号

執行部から、県が示している「保育所設置認可等の基準に関する指針」を県条例にした場合、国の基準により保育を行っている本市では、基準を満たせなくなり、待機児童の増加につながる恐れがあるとの参考意見あり。

意見 陳情理由は理解するものがあり、もう少し審議を重ねる必要があるため、継続審査とすべき。

反対討論 本市は国基準で保育を行っており、県内市町村の保育状況からも待機児童の増加が予測される。(継続審査は否決。全会一致で不採択すべきものと決定)

審査案件(議案第7号)
◆議案第7号
(内容) 地方公営企業法の改正により、水道事業の利益を減債積立金または利益積立金へ積み立てる義務が無くなったことから、未処分利益剰余金のうち、290万円を減債積立金に積み立てるため、議会の議決を求めるもの。

問 利益の積み立てが義務化される理由は。

答 企業債借入金の償還に充てるため、義務化されていた。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第8号

(内容) 紅葉のライトアップなどを行うイベント等の経費を補助するとともに、観光客等に「がっどお申」や農産物等の詰め合わせを配布し、君津のグルメの普及や本市で生産する農産物等の安全性をPRすることで、消費拡大を図るための経費として、450万円を増額補正する。財源は「がんばろう!千葉」市町村復興基金交付金400万円と前年度繰越金50万円を充てる。

問 ライトアップの期間や来年度以降の考え方は。

答 ライトアップは、亀山オータムフェスティバルの期間を考慮しており、ナイトマーケットで地元産品の販売を予定している。機材を購入するため、今後は演出効果が見込めるイベント等で利用する。

問 農産物の配布方法は。

答 「君津富津うまいものまつり」や「アクアラインマラソン」等、9回程度配布を予定している。
意見 物品の無料配布だけでは地域の活性化につながらない。効果的な補助金の活用、地域の利益や経済循環を促す仕組みづくりを十分に検討されたい。(全会一致で可決すべきものと決定)

7月～9月

特別委員会の取り組み報告

● 交通体系等調査特別委員会

開催日：7/20

事 件：コミュニティバスの運行状況、デマンド交通事業の進捗状況

● 議会改革特別委員会

開催日：① 8/2 ② 9/24

事 件：① 議会・議員活動における課題の検討
② 検討項目の具体的な議論

● 君津活性化対策特別委員会

開催日：8/20

事 件：新たな総合計画

● 決算審査特別委員会

開催日：9/18～20

事 件：平成23年度各会計歳入歳出決算の認定
(9ページに関連記事あり)

7月～9月

委員会等の開催状況

常任委員会・特別委員会以外で、市議会選出の議員が、出席した委員会等は次のとおりです。

- 定期監査等 7/13、18、24、25、26、31
8/1、7、8、9、20
9/8、21、28
- 君津中央病院企業団議会関係 9/27
- 下水道組合関係 8/22
- 農業委員会関係 7/9、23
8/6、22
9/10、21、27
- 文化のまちづくり1%支援委員会 7/7
9/3
- 学校給食共同調理場運営委員会 9/25

決算審査特別委員会

平成23年度一般会計決算

297億円を認定

特別会計・水道事業決算も認定

委員長 三宅良一
副委員長 鴨下四十八
委員 下田加藤天笠保坂高橋本真板喜寛好一明礼子

各会計の決算状況

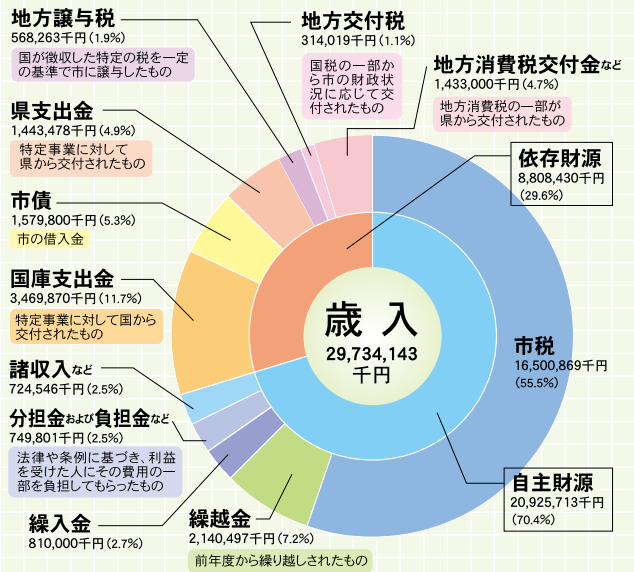
(単位：千円・%)

区	分	歳入 (前年比)	歳出 (前年比)	差引額 (前年比)
一般会計		29,734,143 (△4.6)	28,173,017 (△3.0)	1,561,126 (△27.1)
特別会計				
学校給食特別会計		775,267 (7.2)	767,083 (7.3)	8,184 (△7.4)
駐車場事業特別会計		35,892 (△3.8)	25,987 (△10.9)	9,905 (21.7)
国民健康保険特別会計(事業勘定)		10,102,225 (4.8)	9,778,731 (4.7)	323,494 (8.8)
国民健康保険特別会計(直診勘定)		254,574 (17.3)	243,452 (16.8)	11,122 (29.6)
聖地公園事業特別会計		206,804 (380.2)	185,802 (540.0)	21,002 (49.7)
農業集落排水事業特別会計		31,440 (△4.9)	24,687 (△7.2)	6,753 (4.3)
介護保険特別会計		4,990,981 (4.3)	4,962,177 (4.1)	28,804 (30.9)
後期高齢者医療特別会計		728,055 (9.9)	725,215 (10.1)	2,840 (△21.5)
水道会計				
収益的収支		2,149,979 (△3.0)	2,093,142 (△2.2)	56,837 (△24.5)
資本的収支		421,935 (18.3)	1,065,287 (5.0)	△643,352 (△2.3)

※水道事業のうち、収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み

平成23年度一般会計歳入歳出決算をはじめとする各特別会計歳入歳出決算及び水道事業決算について、決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

一般会計決算の内訳



事業の精査・再構築を

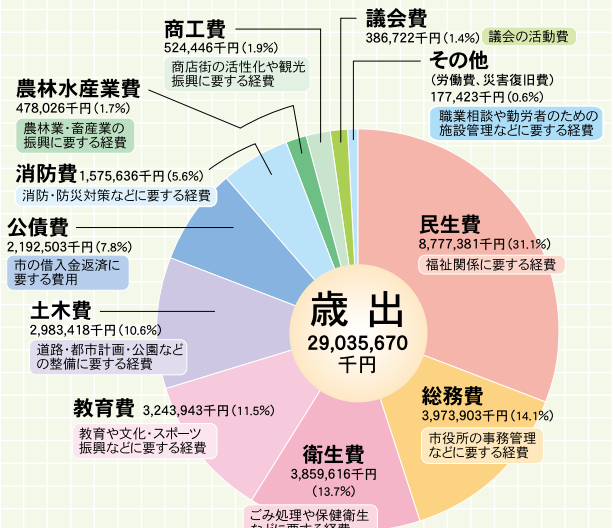
9月5日の本会議において設置された決算審査特別委員会では、9月18日から3日間にわたり、委員9名が平成23年度一般会計歳入歳出決算等、認定議案9件の審査を行いました。

委員会では、各事業の目的や執行状況を確認しながら、事業の成果や今後の方針等について、執行部へ問い質し、審査を行いました。

慎重な審査の結果、認定第1号ないし認定第3号は賛成多数で、認定第4号ないし認定第9号は全会一致で、原案のとおり、

認定すべきものと決定しました。

9月26日の本会議における委員長報告では、審査の概要に続け、「執行部においては、審査の過程で委員から出された切実な意見、要望等を真摯に受け止め、新年度の予算編成にあたっては、部局の隔たりを越え、事業の精査や再構築を行う中で、貴重な財源確保に努め、新たなまちづくりに向けた着実な予算が編成できるよう全職員の英知を結集し、職務に取り組みられることを望む」との意見も述べられました。委員会における主な質疑と意見など、審査の概要は、次ページのとおりです。



問 本市の財政状況は。

答 平成23年度においては、14億円黒字であるが、基金の繰り入れや臨時財政対策債の借り入れをしている。実質公債費比率や将来負担比率の健全化判断比率では、健全であると考ええるが、基礎的財政収支では、赤字が続き、平成23年度決算では5億円あまりの赤字となっている。

問 高い経常収支比率に対し、どのように考えているか。

答 県下で最も高く、新たな行政需要への対応や継続事業の維持も困難な状況にある。既存の経常事業においても人的経費を含めたコスト意識や効果効率の高い事業への転換、公共施設における統廃合や効率的な運営方法としての民間活力の活用等を図っていく必要がある。

意見 人件費削減の努力は評価するものの、スクラップアンドビルドに取り組み、事業のひとつひとつを精査すべきである。

問 平成22年度決算と比較し、不能欠損額が増加した理由は。

答 財産調査や納税相談等を実施し、滞納者の生活実態を把握したうえで、滞納が5年より古い

ものについて、即時欠損としたことから急増したものである。

問 行政改革推進事業による削減効果及び増収効果は。

答 公共施設内における自動販売機の設置使用料や学校給食共同調理場の管理運営、消防団組織等を見直すとともに、補助金等の適正化や行政刊行物等への広告掲載を行った。

問 君津イメージアップ推進事業の内容は。

答 緊急雇用創出事業を利用し、「きみびよん」の着ぐるみを1体製作し、着ぐるみの操作者及び補助者を市内外のイベントへ派遣した。人件費のほか、委託会社の管理経費や移動用車両の関係費、着ぐるみの清掃費なども含まれている。

意見 「きみびよん」は市民の人氣も高く、本市のPRにも効果があると考ええる。今後も活用方法を工夫し、取り組まれない。



大人気のきみびよん

問 市制施行四十周年記念事業のビデオ制作の状況は。

答 君津市の歩みや歴史に関するもの、定住促進や君津の魅力に関するもの、さらに観光に関するものの計3種類のDVDを300枚製作した。本事業の契約にあたっては、製作会社から見積もりを徴し、本市における過去の実績、さらに、他市の製作状況も確認したうえで、執行したものである。

問 剪定木等の堆肥化事業の状況はどうなっているか。

答 原発事故に伴う放射性物質の影響により、平成23年8月から剪定木等の堆肥化を中止しているが、堆肥中の放射性セシウム濃度が農林水産省から出されている許容最大値を超える可能性もあることから、販売再開時期は、慎重かつ適切な判断をしながら、来年度以降、検討したい。

問 耐震性が確認されている市立保育園は。

答 小櫃保育園、人見保育園について、耐震性を確認している。

意見 多くの保育園施設が老朽化しており、保育現場からの要望等を踏まえ、快適な保育環境の整備のため、有効な予算執行を求める。

問 地域ポータルサイト整備事業の費用対効果は。

答 ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、地域ポータルサイト「きみなび」への登録を市内事業者者に勧奨したものであり、4人の失業者の方を委託業者が雇用し、二人一組で、月平均150件、年間、約3600件の訪問を行い、一件あたりの経費は、3324円となり、その内、ポータルサイトへ登録されたものは、365件であった。

問 企業誘致推進事業に関し、立地奨励金を交付した企業における市民の雇用状況は。

答 交付した企業7社において、全従業員数306人に対し、市民の雇用は106人である。

意見 従業員の3分の2が市外在住者であり、期待された効果は十分でない。今後とも、定住人口の増加に結び付くよう、努力されたい。

問 君津勤労者総合福祉センター関係費について、君津勤労者総合福祉センターとスポーツプラザの両業務に従事している職員はいるか。

答 両業務に従事している職員はいる。勤務割合で按分した人件費が君津勤労者総合福祉セン

ターの指定管理料の中に含まれている。

意見 今後、施設の管理方法を十分に精査し、取り組まれない。

問 非常災害時用備蓄品購入事業に関し、備蓄品目の選定方法は。

答 防災計画上、必要と思われる品目について、市が選定し、備蓄している。

意見 各地区の状況により、必要な備蓄品は異なると考える。今後、地元の声を聞きながら取り組まれない。



防災備蓄倉庫の内部

問 共同指令センター整備事業負担金に関し、派遣される職員の状況は。

答 共同指令センターには、県内20の消防本部から、職員が派遣される。本市では、一年半または三年を周期として、2名の職員を派遣する予定となっている。

問 学校用地借上料に関し、北宇安小学校の賃借地について、交渉の経過はどうなっているか。

〔答〕地権者の心情も踏まえながら、部分的な用地取得も含めて交渉しているところであり、少しずつ、協力への理解が示されつつある。今後も、一層の努力を続けたい。

学校給食特別会計

〔問〕新たな調理場建設に伴う用地取得の状況は。

〔答〕用地取得は、不動産鑑定士による鑑定価格で7名の地権者と交渉し、購入することができたものである。

〔問〕備品の購入にあたり、新たな調理場でも使用できるものを購入しているか。

〔答〕安全安心な学校給食の提供と安全な労働条件の確保を観点に購入しており、そこまでの検討は行っていない。

〔意見〕新たな調理場での使用も想定した中で、適正な備品管理に努められたい。

駐車場事業特別会計

〔問〕駐車場の管理を無人化した場合の試算を行っているか。

〔答〕現在の経費より、50万程度安くなるなどの試算がある。

〔問〕坂田駐車場の指定管理契約の期間はどのようになっているか。

〔答〕平成23年度から3年間となっている。

〔意見〕指定管理契約の期間終了後については、管理方法を見直すべきと考える。



市営坂田駐車場

介護保険特別会計

〔問〕介護サービスにおける初期相談の窓口は。

〔答〕民間委託により、平成22年度に1カ所を設置。平成23年度には県の100パーセント補助を受け、さらに1カ所を民間委託により設置した。

〔問〕相談窓口が少なくなかないか。

〔答〕平成24年度中に、さらに一カ所増やしたいが、初期相談だけでなく、総合的な相談を行う地域包括支援センターの設置も考える必要がある。

〔意見〕今後、利用者の急増も予測されるため、相談窓口のPRに努めるとともに、相談体制の整備に努められたい。

水道事業会計

〔問〕無効水量の状況は。

〔答〕調定減額による無効水量は、154件、1万6759トン。漏水その他による無効水量は、565件、162万9294トンであり、全体の漏水率は14.85パーセントである。

〔意見〕漏水率が高いため、今後も漏水調査等に努力されたい。

〔問〕水道料金の改定についての見解は。

〔答〕平成24年度の補てん財源は、約9億6千万円だが、使用水量が減っており、平成27年度には約5億円となる見込みのため、小幅な料金改定を考えなくてはならない。現在、水道部内に設置した検討委員会で調査を進めている。

〔意見〕水道料金の改定は、市民生活に大きな影響を与える。他の事例も踏まえ、段階的な改定となるよう調査研究されたい。



委員会討論

〔反対討論〕

●認定第1号

市制施行四十周年記念のビデオ製作は、一般的取引より高額な契約であり、原因は仕様書作成時の情報収集不足である。君津イメージアップ推進事業は、担当部が目的や効果をわからなくなっている。地域ポータルサイト整備事業は、インターネットの無料サービスが発達している中、ホームページ作成費が高額である。職員の時間外手当は、適正な人事配置や勤務管理がないたため、発生したものである。

●認定第2号

今後の設計や建設、運用において、コスト意識を持って進められるか、今より良い給食を作れるか大きな不安を禁じえない。

●認定第3号

坂田駐車場を無人化し、一般社会と同じ感覚で管理すれば、収入が生まれる。

〔賛成討論〕

●認定第1号

市債の借り入れや基金の取り崩し等により、財源を確保し、概ね予定どおり、事業が執行されている。経常的経費削減に努め、懸案であった人見保育園の建設に取り組まれたこと、国・

県の支出金等を活用し、君津駅周辺の道路整備や市道六手・貞元線の整備に取り組まれたことを理解する。君津イメージアップ推進事業や地域ポータルサイト整備事業は、経済対策事業を活用し、失業者の雇用対策を市内経済の活性化に結びつけようとしたもので、目的は概ね達成されている。職員の時間外勤務は、全庁的な応援体制を作り、抑制に努めている。市制施行四十周年記念のビデオは、本市の魅力を示すことなく紹介し、関係機関等への配布やインターネットでの公開等により、郷土愛醸成や企業誘致、定住人口の増加にも寄与すると評価する。

●認定第2号

新たな調理場の用地は、不動産鑑定士による鑑定価格をもとに、適正価格で購入している。

●認定第3号

指定管理者制度により、利便性や安全性に努めている。

●認定第9号

給水人口や収益が減少する中、老朽化施設の整備等を図るとともに、大規模災害に備えた給水及び復旧資機材の整備、近隣市等と連携した訓練の実施を高く評価する。また、有収率の向上や水道料金、施設の維持管理等について、十分な検討を望む。



平成 24 年度千葉県
石油コンビナート等防災訓練

9月12日、市議会から多くの議員も出席し、新日本製鐵(株)君津製鐵所(現新日鐵住金(株))内で大規模な防災訓練が実施されました。本市消防本部と民間企業の自衛消防組織、さらに関係機関等が連携し、4か所同時の消火活動や流出油の処理、津波避難など、実践的な訓練を通じ、防災体制の強化が図られました。

全国消防操法大会で優良賞

10月7日、全国消防操法大会が行われ、本市では22年ぶりに、千葉県代表として、消防団第15分団が出場しました。小雨の降る中、迅速かつ正確なポンプ・ホース等の操作が披露され、24チーム中第7位、優良賞を獲得しました。



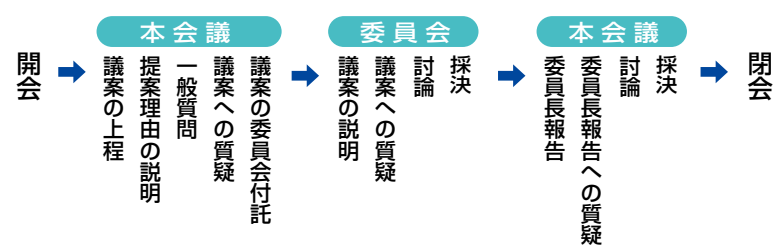
新「ひまわり号」発車

4代目となる移動図書館「ひまわり号」が完成し、10月5日に出発式が行われました。小林議長は、「人間の感性や創造力を育む読書は大変重要なもの。新ひまわり号による読書環境のさらなる充実・発展を祈念する」と祝辞を述べ、列席した市議会議員とともに、新車両へエールをおくりました。

市議会 Q&A

Q 市議会開会中の会議は、
どうなっているの？
A 開会から閉会までの期間(会期)中の会議は、概ね次のとおりです。本会議では、全議員が本会議場に集

まり、市長から提案された議案などを審議し、議会の意思を決定します。また、本会議での審議を効率的に行えるよう、予備的審査・調査機関として、委員会が設置されています。



市議会だより 編集委員 委員長/磯貝 清 副委員長/池田 文男
委員/鴨下四十八、三浦 章、鶴田 剛

〒299-1192 君津市久保2-13-1 TEL.0439-56-1497
ホームページ <http://www.city.kimitsu.lg.jp> きみつ市議会 検索

12月 11月30日(金)
定例会 開会予定です

議会を傍聴しませんか

9月定例会傍聴者数 92人
本会議(4日間)
傍聴ご希望の方は、本会議当日、市役所8階議会事務局でお申し込みください。なお、傍聴席は72席のため、先着順となります。

議会の日程や会議録をインターネットでご覧いただけます。

会議録は、中央図書館でもご覧いただけます。(9月定例会の会議録は11月下旬から)